

2017年度 第2回 順天堂大学医学部附属順天堂医院
医療安全に関する外部監査 実施報告書

日 時：2017年10月16日（月）14：00～15：15
場 所：C棟5階 カンファレンスルーム
外部監査委員：東京都医師会会長：尾崎 治夫 様
公益社団法人日本精神科病院協会指定弁護士：浅田 眞弓 様
早稲田大学 客員教授：村山 徹 様
対 応 者：院長：天野 篤
医療安全管理責任者：川崎 誠治
医療安全推進部部長：小林 弘幸
事務部部長：米澤 和彦
事務部部長補佐：岩崎 幸雄
医薬品安全管理責任者：佐藤 邦義
臨床工学技士長：中村 昭也
医療安全管理室：室長：川崎志保理、医療安全管理者：櫻井順子、
事務員：金子真弘

タイムスケジュール

1. 概要説明と出席者紹介	14：00-14：05
2. 業務状況報告	
1) 前回監査指摘事項に関する報告	14：05-14：10
2) 医療安全管理室業務状況報告(2017年4月～9月)	14：10-14：30
3) 医療安全管理委員会業務状況報告(同上)	14：30-14：40
4) 医薬品安全管理責任者業務状況報告(同上)	14：40-14：50
5) 医療機器安全管理責任者業務状況報告(同上)	14：50-15：00
3. 監査委員からの講評	15：00-15：15

監査結果

(前回指摘事項に対する改善状況について)

- ・インシデントやアクシデント発生時に上申する判断基準の明文化
→業務範囲書に追加されていた
- ・医療安全研修への医師の参加率向上
→臨床系教授が出席する診療委員会で受講率の低い診療科を毎月発表した結果、
5月は25%であったが、10月には94%まで向上していた
- ・シミュレーション教育の導入
→PICCカテーテル研修会を実施した。体系的な取り組みは今後の課題と考える
- ・医療機器導入後の流動管理に対する病院全体での取り組み
→購入によって得られた「質の改善データ」を集計し、導入後1年経過したあたりで再

評価を行うプロセスとなっている。このプロセスは、JCI（国再病院評価機構）からも推奨されている

(評価項目について)

- ・ 事故発生時には再発防止策を検討しており、十分に医療安全管理業務が実施されていると判断する。
- ・ 医療安全マニュアルが院内共通・各部署ともに整備されている。
- ・ 患者への説明に図表などを用いており、患者の視点から見て高く評価できる。

(提言項目について)

- ・ 医療安全研修は全職員受講が必須であり、100%の受講を目指すこと。引き続き所属長への指導をお願いしたい。
- ・ 事故防止のためには上層部での決定事項を院内全体に周知させるだけでなく、現場の意見を上層部へ提案し、これを組み上げて承認することが可能な体制作りに努めていただきたい。
- ・ シミュレーション教育、デジタル化の推進
- ・ 医療安全管理業務を行う者が限定されており、後継者育成のためのサクセッションプラン（後継者育成計画）を導入してみてはどうか。

以上